

東京大学医学部附属病院の概要 2025

1



理念

当院は臨床医学の発展と医療人の育成に努め、
個々の患者に最適な医療を提供する

目標

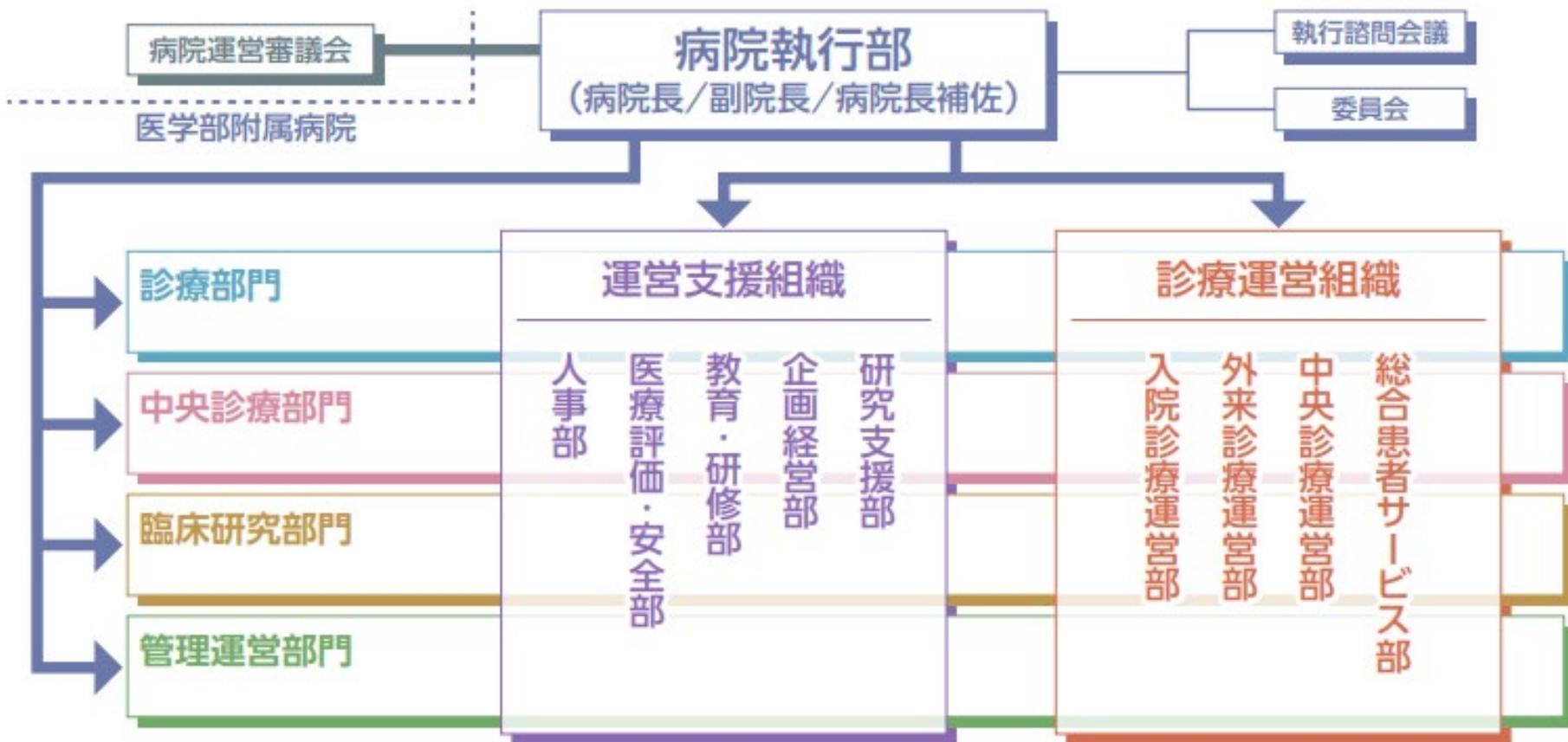
- 患者の意思を尊重する医療の実践
- 安全な医療の提供
- 先端的医療の開発
- 優れた医療人の育成
- 働きやすい職場環境の実現



病院長 田中 栄

東京大学医学部1987年卒 医学博士
東京大学大学院医学系研究科 整形外科学 教授
東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科 科長
2023年4月より東京大学医学部附属病院長

東大病院 機構図



病院運営審議会

- 年4回開催
- 本部・医学部・外部委員・病院教職員により構成
- 病院の運営に関する重要事項について病院長からの諮問に答申することを目的とする

監査委員会

- 年2回開催
- 本部・外部有識者（医療関係者、弁護士、医療を受ける者）により、構成
- 医療に係る医療安全管理の適切な実施を監査

執行部会

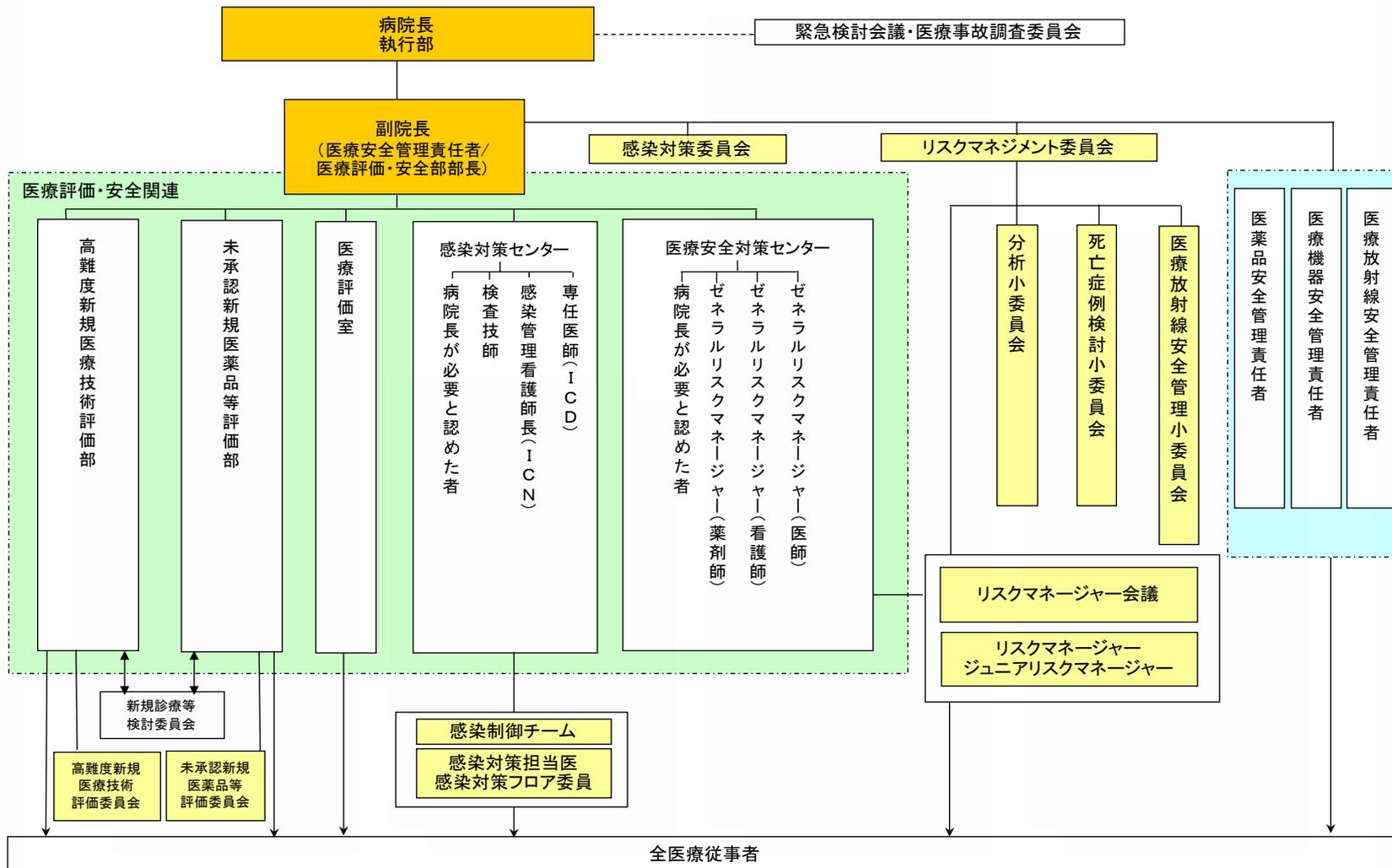
- 病院の意思決定及び執行機関（週1回開催）
- 構成（病院長の指名制）
病院長、副院長4名、
病院長補佐12名

執行諮問会議

- 月1回開催
- 診療科長、副診療科長等により構成
- 病院長が病院運営全般に関して付議した事項について意見収集及び周知することを目的とする

安全管理体制組織図

医療安全管理体制組織図(医療安全・院内感染・医薬品・医療機器・放射線)



- ・ 保険医療機関
- ・ 特定機能病院
- ・ 救急告示病院
- ・ 救命救急センター
- ・ 災害拠点病院
- ・ DMAT指定医療機関
- ・ 東京都こども救命センター
- ・ 臨床研修病院
- ・ 臓器移植施設（心臓、肺、肝臓、腎臓）
- ・ 臨床修練指定病院
- ・ 臨床研究中核病院
- ・ がんゲノム医療中核拠点病院
- ・ 地域がん診療連携拠点病院
- ・ 総合周産期母子医療センター
- ・ エイズ治療拠点病院
- ・ DPC対象病院
- ・ 紹介受診重点医療機関

1. 病床数：1,218床 (R7.4.1現在)

一般病床：1,157床、精神病床：40床、保険外病床：21床

2. 令和6年度受診者数及び診療報酬請求額等

入院：延べ327,696人 (1日平均：898人)

外来：延べ635,077人 (1日平均：2,592人) ※外来受診及び人間ドック受診者数。

新入院患者数：28,192人、平均在院日数：一般 10.8日 精神 32.8日

診療報酬請求額：539億4700万円 (入院：364億4100万円)

(外来：175億 600万円)

入院診療単価：111,203円、外来診療単価：27,565円

救急患者数：12,527人、3次救急：818人

手術部手術件数：12,218件、分娩件数 (妊娠22週以降)：904件

臓器移植件数：163件

3. 職員数：4,373人 (R7.4.1現在、短時間有期雇用職員等を含む。)

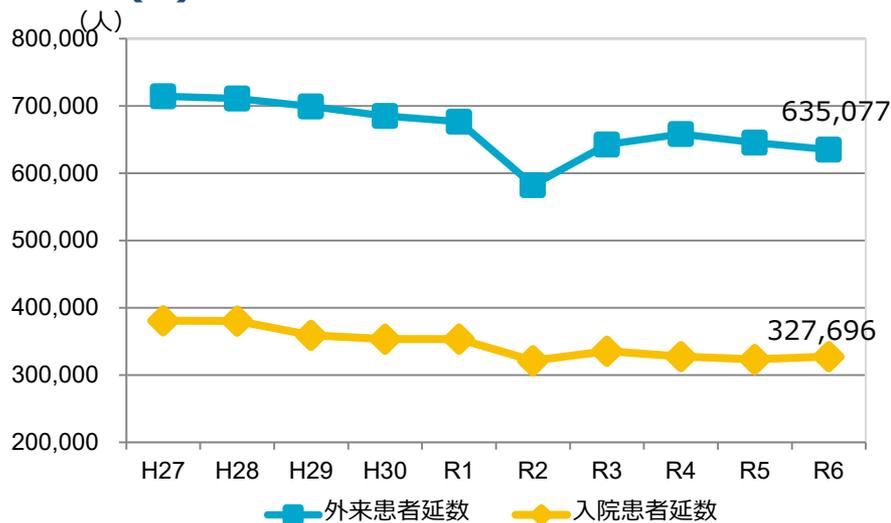
医師 (含研修医、歯科医師)：1,718人 教員・研究員等：58人

看護職：1,458人 医療技術職員：443人

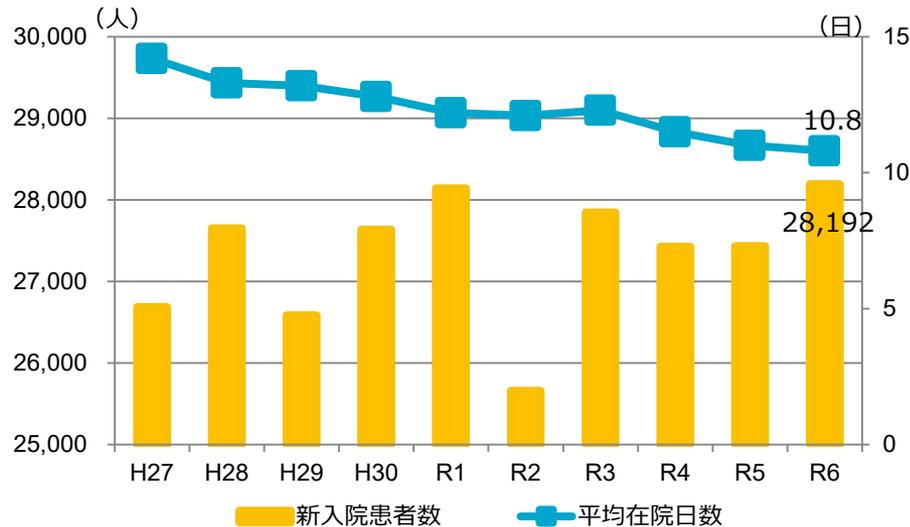
事務職員等：696人

病院機能指標 ①

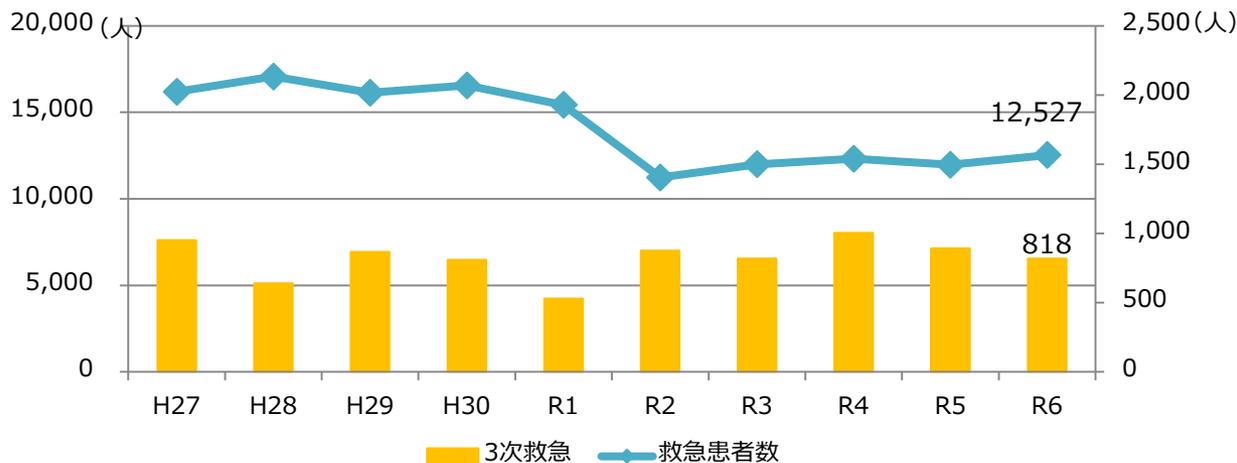
(1) 患者数の推移



(2) 新入院患者数と平均在院日数の推移



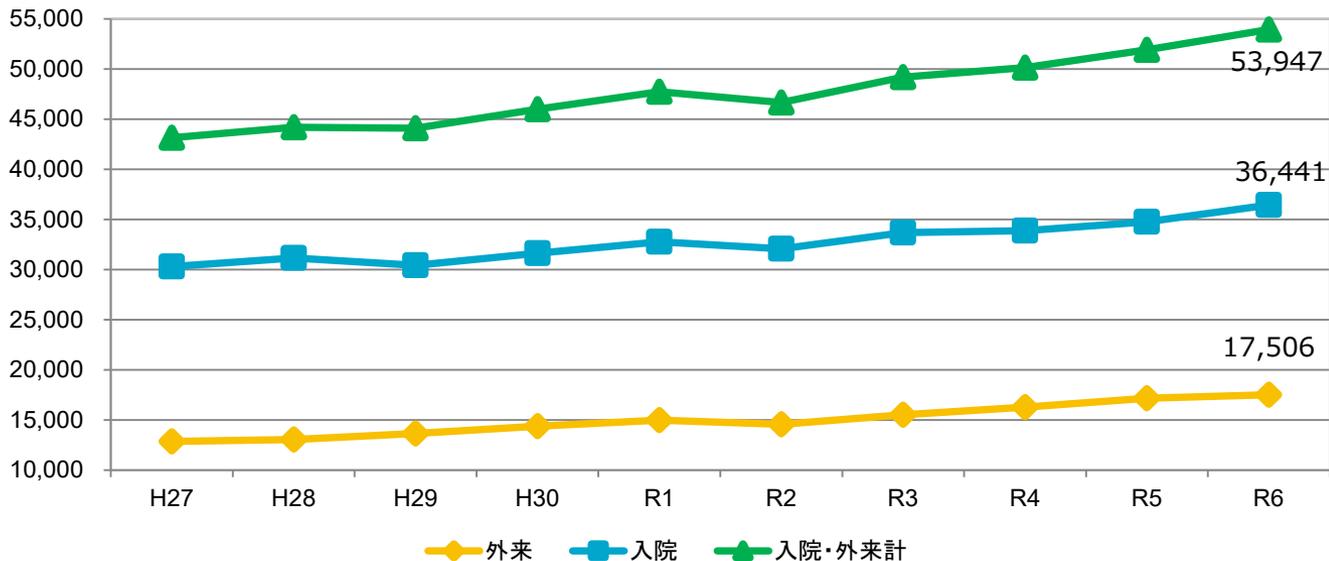
(3) 救急患者数の推移



※複数診療科の受診数も含む

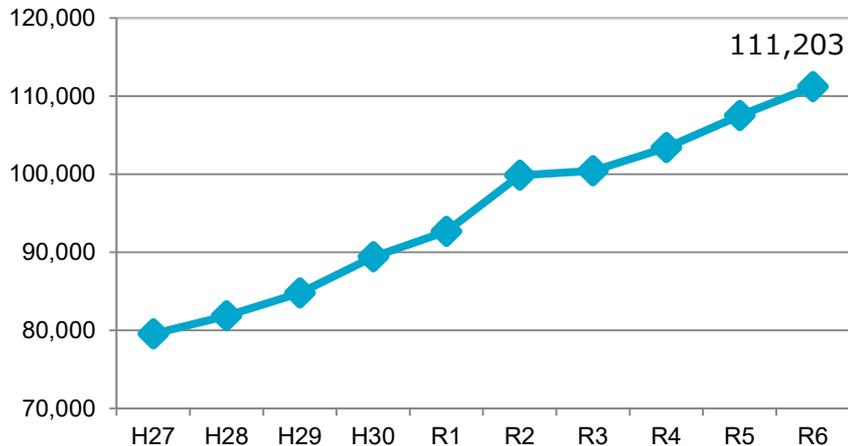
(4) 診療報酬請求額の推移

(百万円)



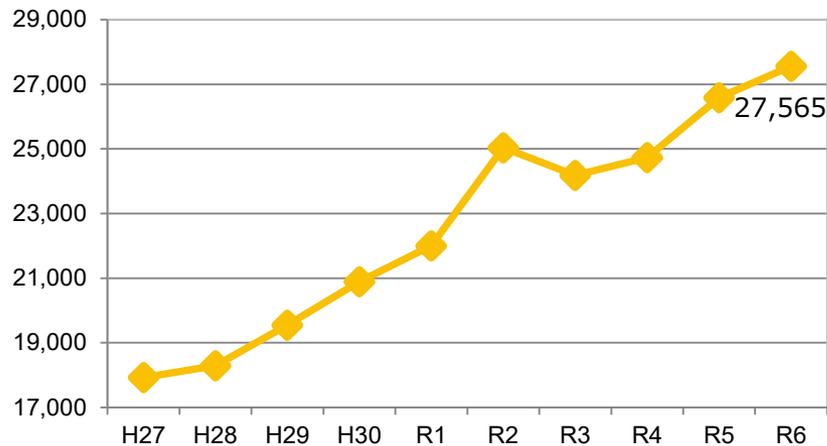
(5) 入院診療単価の推移

(円)

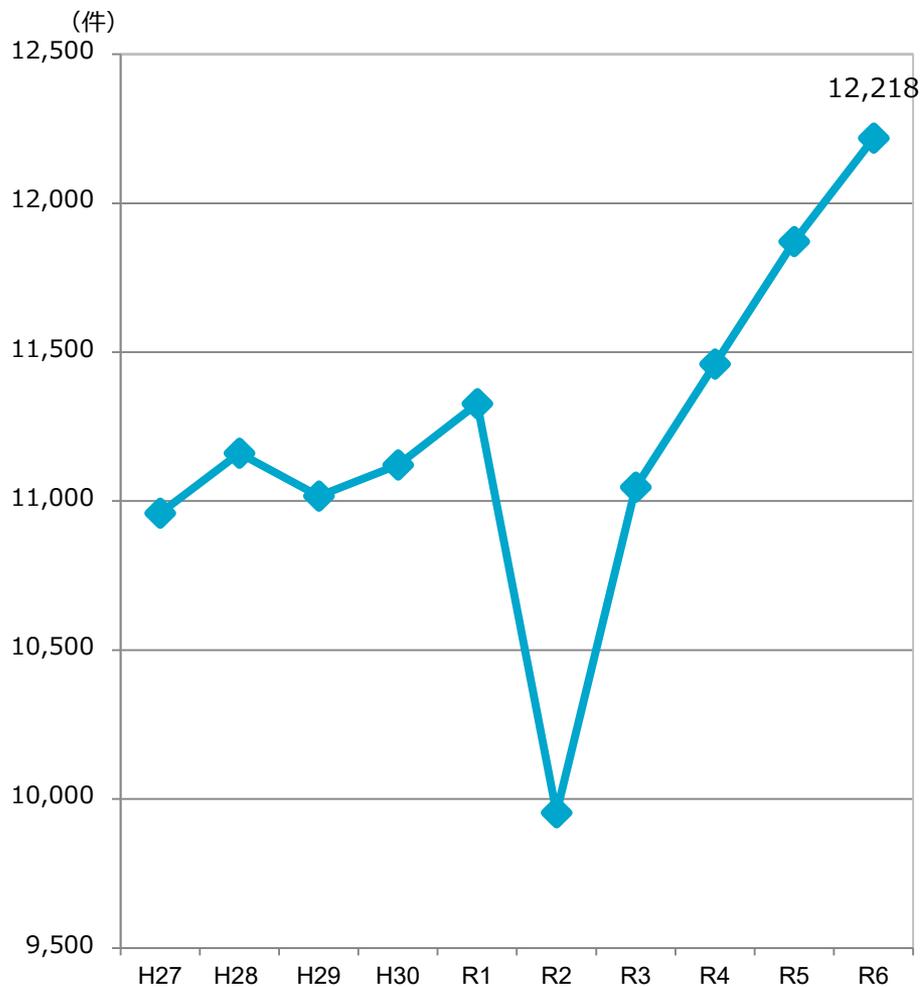


(6) 外来診療単価の推移

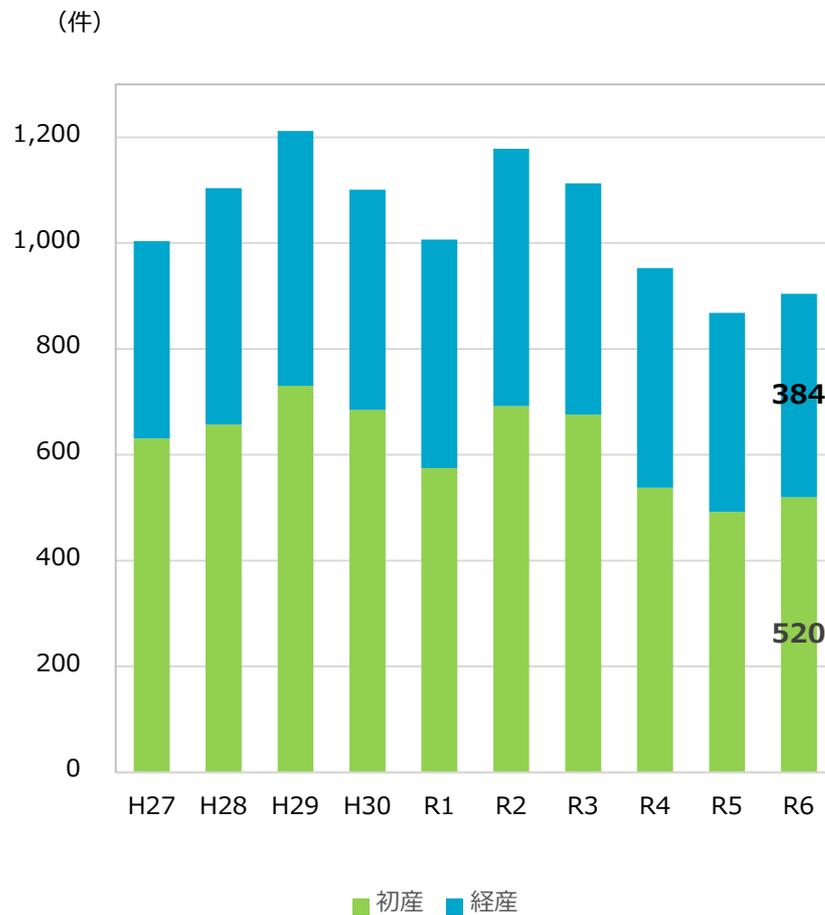
(円)



(7)手術部手術件数の推移



(8)分娩総数の推移



臓器移植医療への貢献

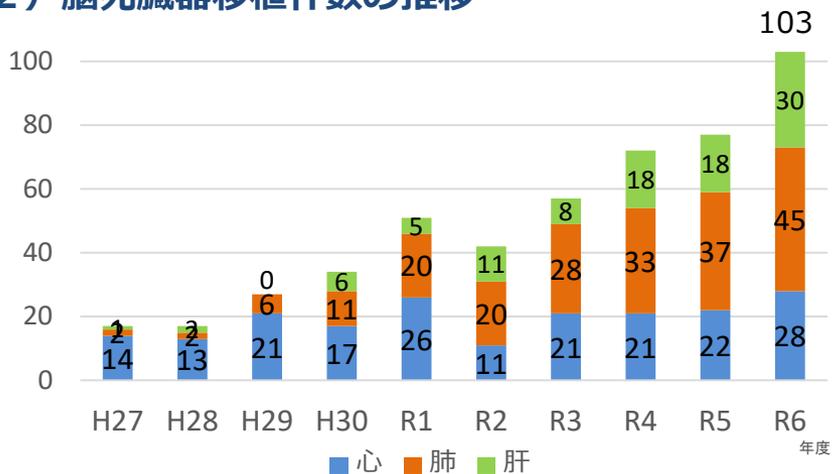
臓器移植医療センターを中心に、臓器移植に積極的に取り組んでいます。

R6は過去最高の163件を実施しました。

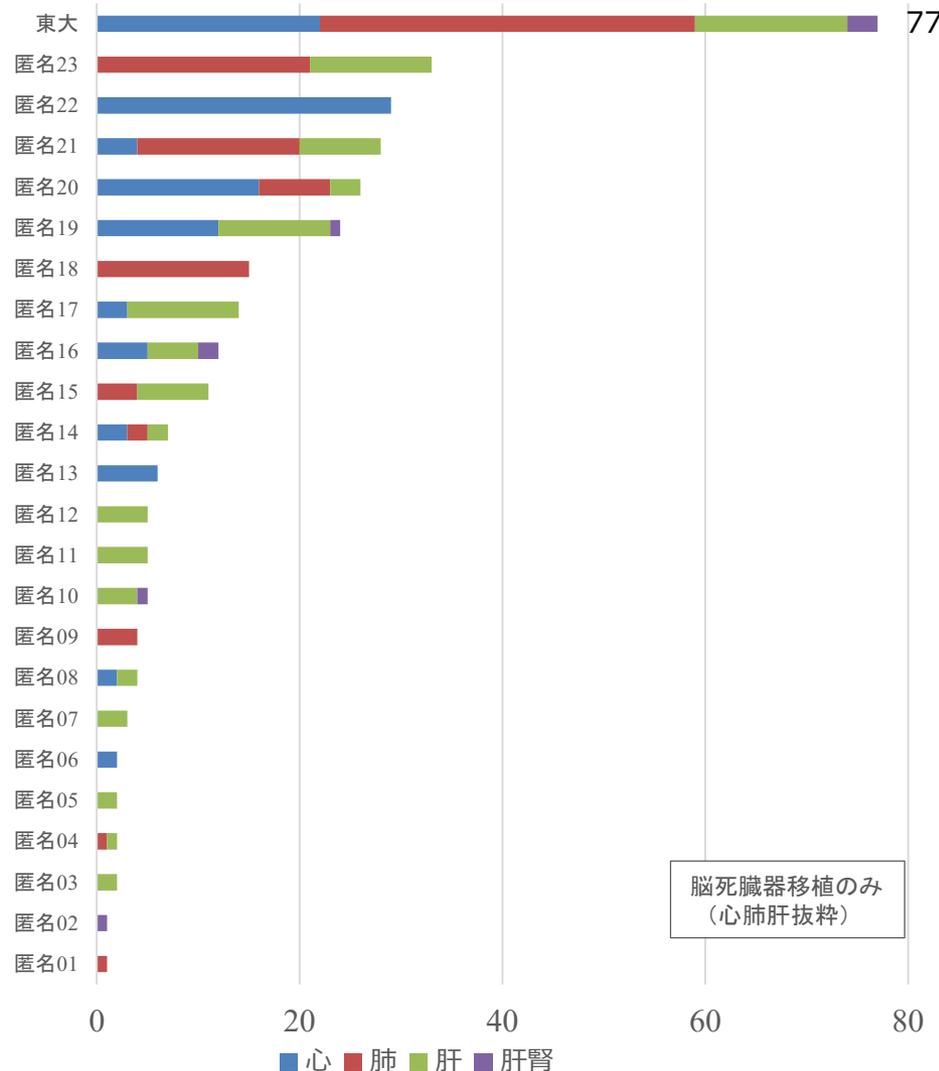
(1) 臓器移植件数の推移 (全体)

	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
肝移植	生体	13	21	14	31	31	50	56	54	58	51
	脳死	1	2	0	6	5	11	8	18	18	30
腎移植	生体	4	4	5	5	2	5	5	6	7	5
	献腎	1	2		1		1		3	3	1
肺移植	生体	1		3		6	8	7	2	2	3
	脳死	2	2	6	11	20	20	28	33	37	45
心臓移植		14	13	21	17	26	11	21	21	22	28
合計		36	44	49	71	90	106	125	137	147	163

(2) 脳死臓器移植件数の推移



(3) 他施設との比較 (R5脳死臓器移植実施件数)



脳死臓器移植のみ
(心肺肝抜粋)

参加者数の推移

第1回 (H27年度) 118名	第2回 (H28年度) 128名	第3回 (H29年度) 135名	第4回 (H30年度) 159名	第5回 (R1年度) 167名
第6回 (R2年度) Web配信 視聴回数 1,964回	第7回 (R3年度) Web配信 視聴回数 1,552回	第8回 (R4年度) Web配信 視聴回数 7,463回	第9回 (R5年度) ハイブリット開催 会場約40名 オンライン約100名	第10回 (R6年度) 204名

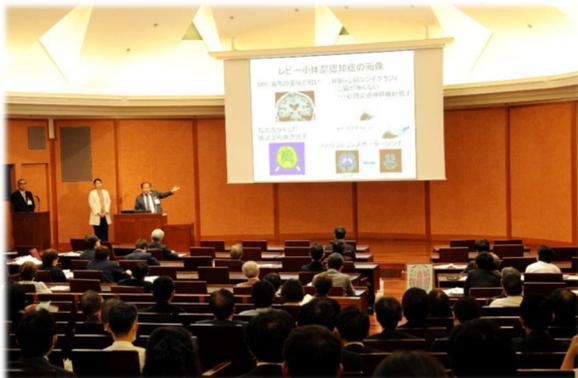
ご参加いただいた団体

世田谷医師会、文京区医師会、小石川医師会、浅草医師会、墨田区医師会、港区医師会、日本橋医師会、神田区医師会、北区医師会、新宿区医師会、玉川区医師会、豊島区医師会、川口市医師会、ほか連携医療機関

令和6年10月17日、第10回地域医療連絡会を開催しました。

地域の医療機関の皆様へ、当院の診療科による特色ある取り組みを紹介しました。

また懇親会では、地域の医療機関の皆様と当院の医師や看護師、MSWが活発かつ有意義な意見交換を行い、親睦を深めることができました。



第10回の開催を記念して「鏡開き」を行いました！



東大蔵元会の一つである「金水晶（きんすいしょう）酒造のひやおろし」の樽酒を皆様にご賞味いただきました。

東大病院アワード チーム部門

3つの視点「貢献度、技能及び労力、発展性」から総合的に評価され、チーム部門においては最優秀賞1チーム、優秀賞4チームが受賞しました。

最優秀賞 A6北病棟

◆受賞理由◆

病床確保が難渋する傾向にある中、医師による丁寧なヒアリングと入院申込管理、看護師長との連携により、救急科や同日入退院が多い中、106.9%という高稼働を維持した。入退院センター職員の負担軽減にも繋がった。

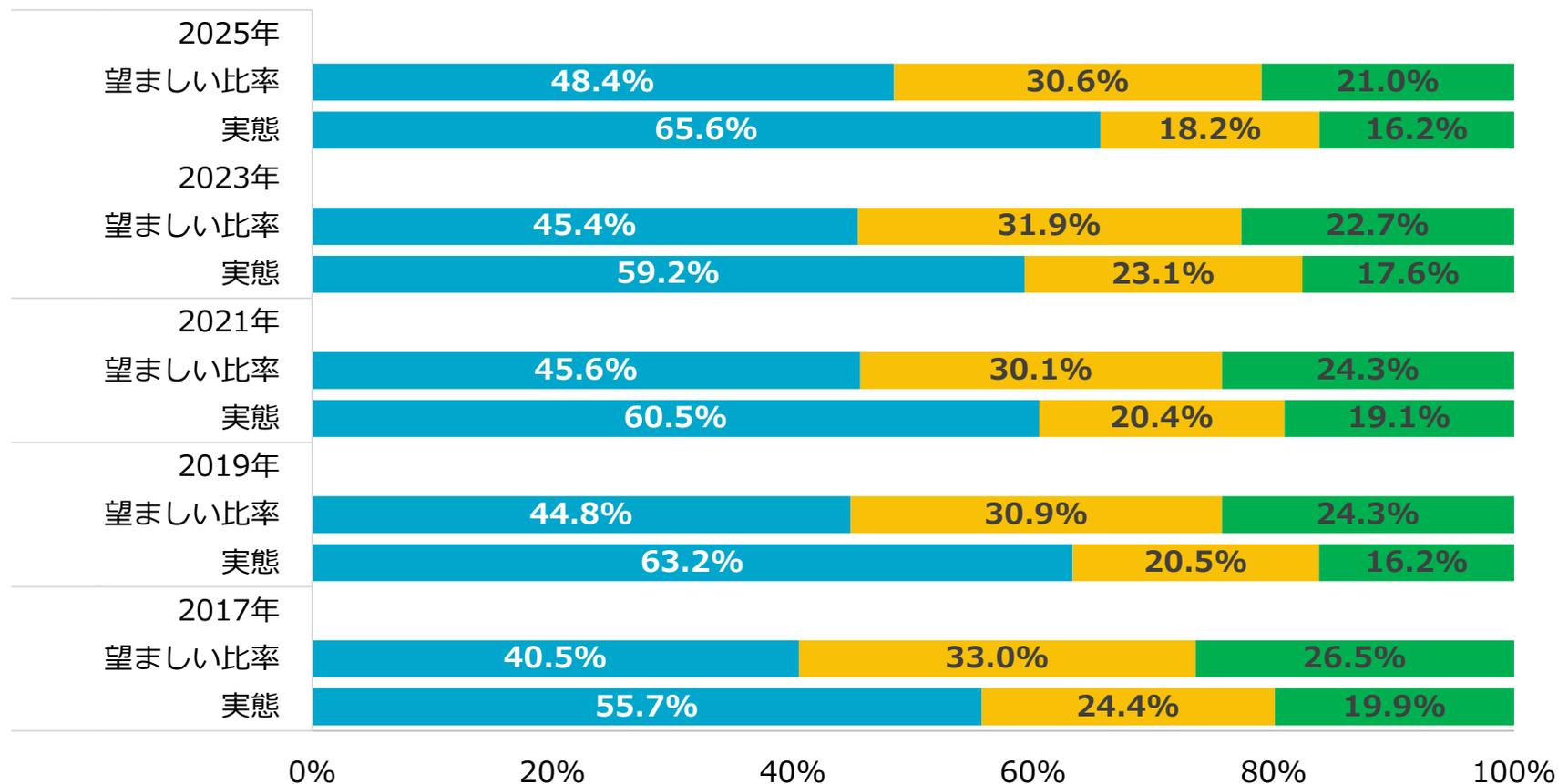
東大病院アワード 個人部門

個人部門においては、広く院内から募った推薦を経てベストスタッフ賞を10名が受賞しました。



診療科(部)長を対象としたアンケートから見た 大学病院における診療、教育、研究の比率

■ 診療 ■ 研究 ■ 教育



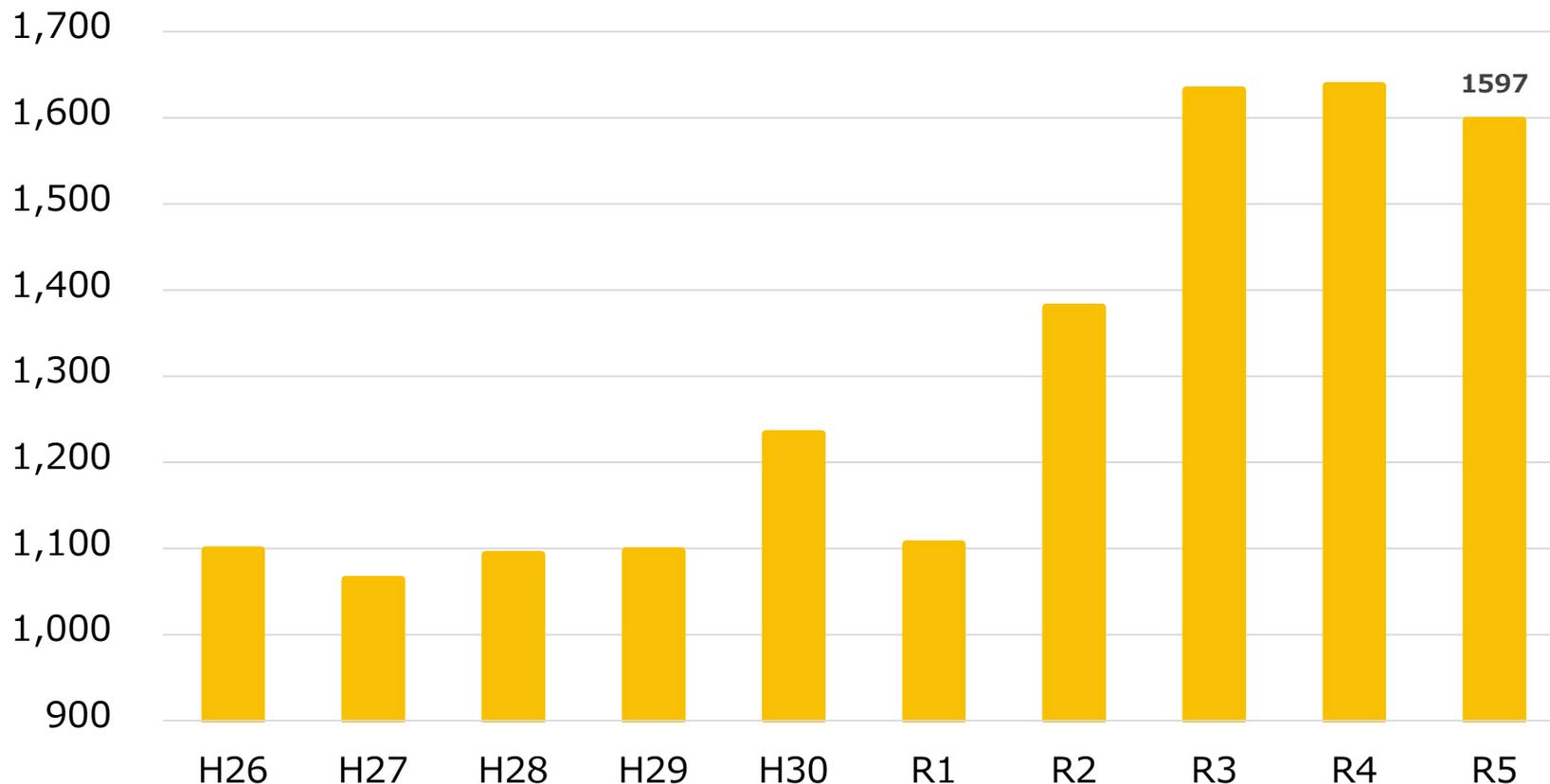
※アンケート回答率) 2025年 : 78% 2023年 : 85% 2021年 : 73% 2019年 : 95% 2017年 : 97%

東大病院所属のものが著者に含まれる 英文原著論文数の推移

9月下旬更新予定

15

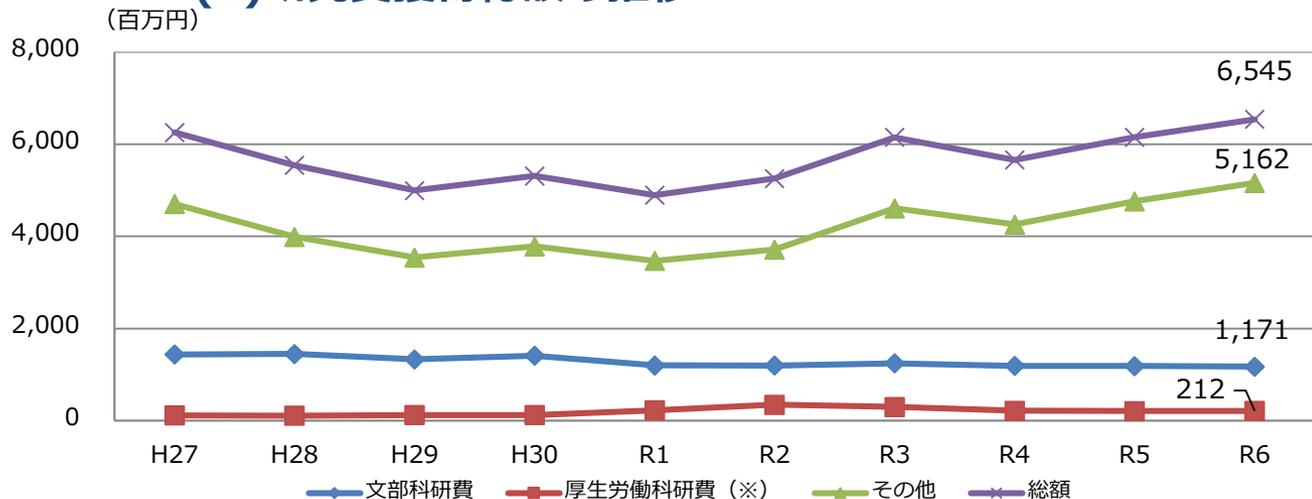
(単位：編)



※診療科（部）長から前年分として報告のあった論文のうち、PMIDが付されている論文集計
※所属が東大病院であればその形態（学生・スタッフ、常勤・非常勤の別等）は問わない

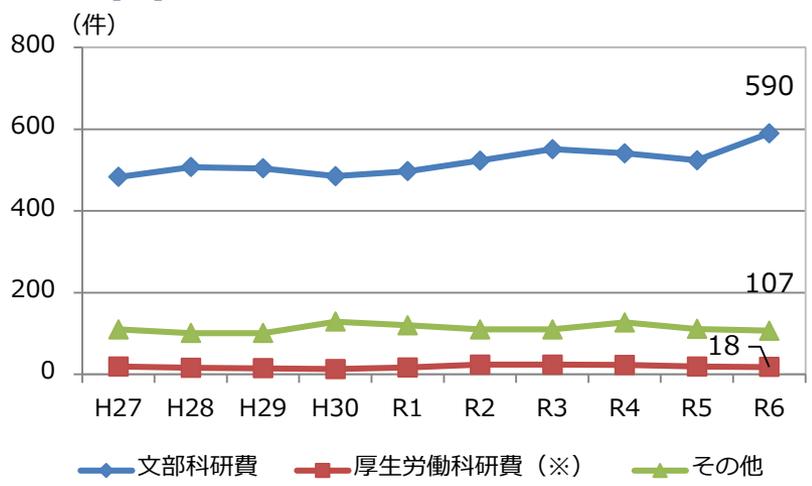
研究費獲得の推移

(1) 研究費獲得総額の推移

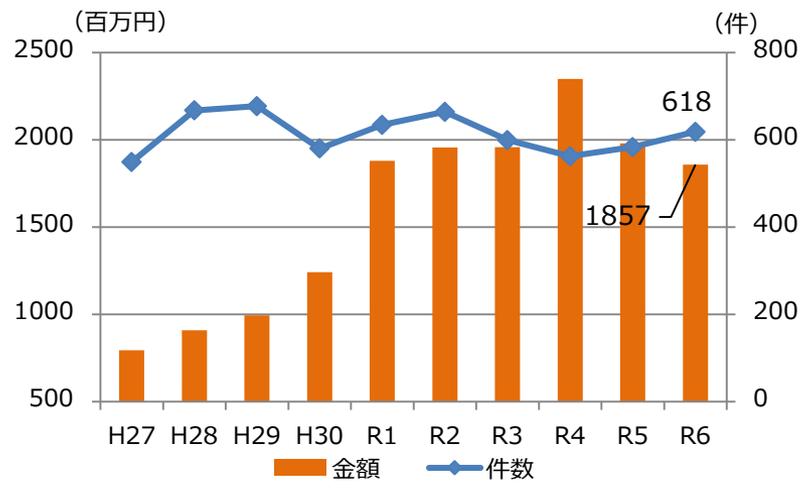


- 【その他の主な内訳】
- ・医療研究開発推進事業費補助金
 - ・感染症予防事業費等補助金
 - ・医療施設運営費等補助金
 - ・戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)
 - ・科学技術振興機構 (JST) 委託費
 - ・日本医療研究開発機構 (AMED) 委託費

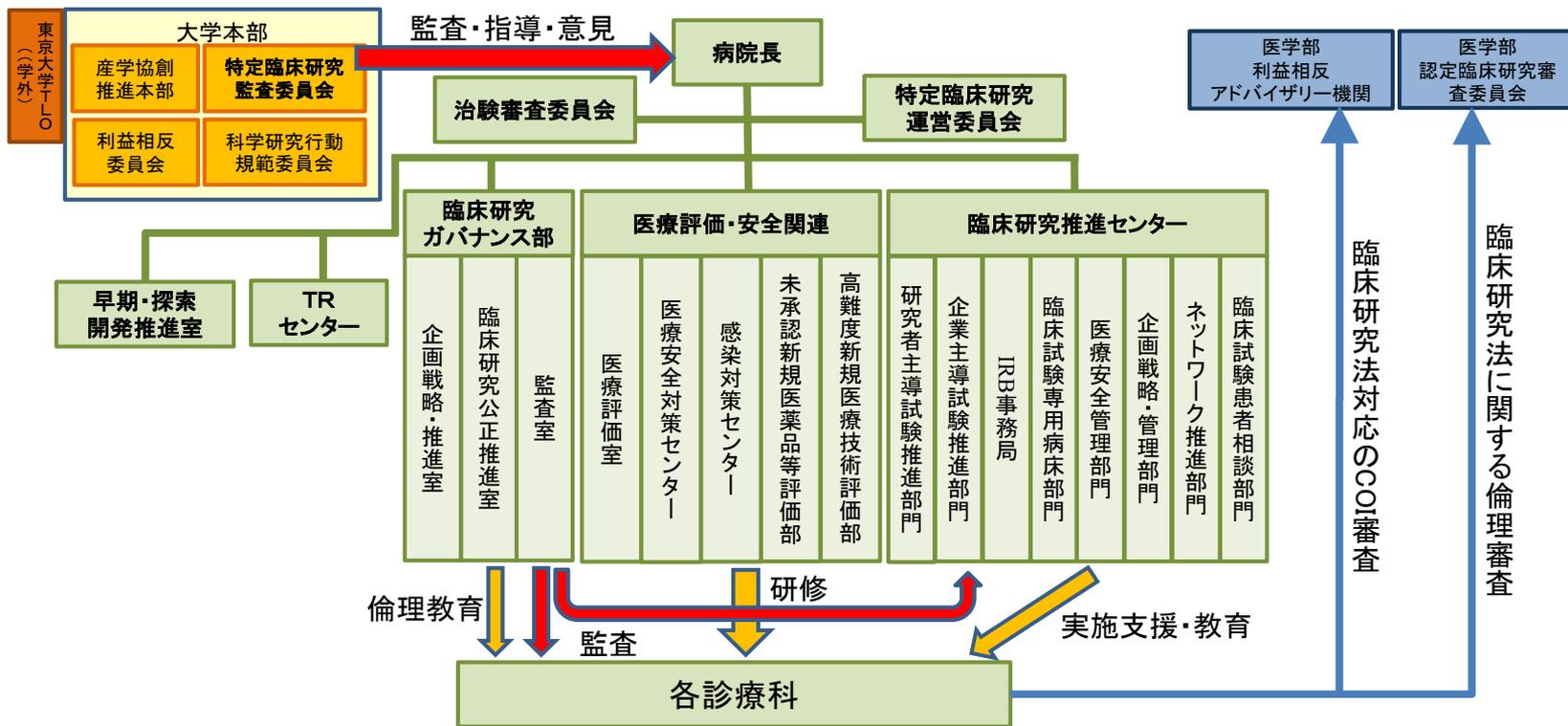
(2) 研究費獲得件数の推移



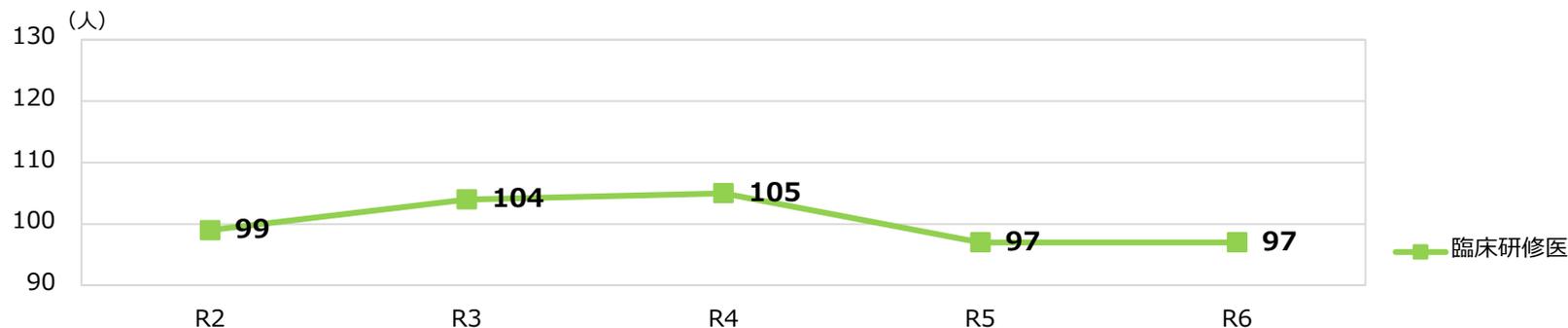
(3) 受託・共同研究の推移



特定臨床研究に関する体制



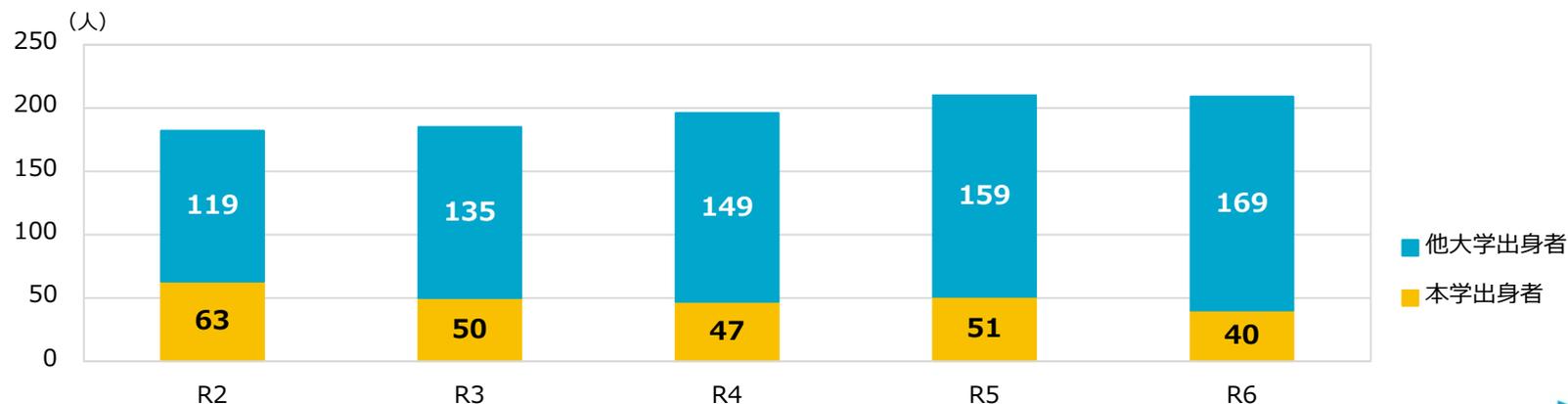
(1) 医師臨床研修プログラム（マッチング数）



※臨床研修医…医学部を卒業し、医師免許を取得した医師が、プライマリ・ケア（病気の初期診療）の基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身に付けるために、2年間の医師法に基づく臨床研修を受けている医師

※マッチング（研修医マッチング）…医師免許を得て臨床研修を受けようとする者と臨床研修を行う研修病院の希望を踏まえ、一定の規則に従い組み合わせを決定

(2) 専門研修プログラム（基本領域の新規登録者数）



※専門研修プログラム…臨床研修修了後に専門医となるためのプログラム

ホスピタルアートの導入

病院の環境改善と空間の有効活用により、患者さんやスタッフに『落ち着き』『癒し』『安心感』を感じてもらいたいと考え、令和7年5月、外来診療棟1階と2階の待合室に、新しくアートを導入しました。



コンセプト

「自然」
「癒し・心地よさ」
「東大らしさをどこかに取り入れる」

■設置エリア（外来診療棟の待合室）

- 1階：整形外科・脊椎外科/女性診療科・産科
- 2階：内科

待合室で椅子に座ると、目の前の壁に緑系をベースにグラデーションする作品が飾られています。



■作家について■

山本 愛子（やまもと あいこ）さん
1991年東京生まれ。

東京藝術大学大学院先端芸術表現科修了（2017）。
ポーラ美術振興財団在外研修員として中国にて研修（2019）。
自然環境と人間の関係性をテーマに、主に染色技術を用いた作品を制作する。アジアを中心に国内外でフィールドリサーチや滞在制作を行い、土地に根ざした自然の記憶と人の営みが交差する痕跡や風景を可視化することを試みる。